

## 災害対策本部の動き (町長の行政報告より)

7月30日

8:25

カムチャツカ半島沖で  
M8.7の地震発生

8:37

本町に津波注意報が発令

- ・町職員や消防署広報車を避難対象地区に派遣
- ・海岸付近からの退避呼びかけ

9:40

津波警報に切り替え  
津波到達予想最大3m

9:45

- ・災害対策本部設置
- ・大津、長節、湧洞地区に避難指示発令
- ・津波緊急避難場所3か所と大津コミセンに職員派遣
- ・避難者約160名に食料等配付

14:00

- ・える夢館に二次避難所開設  
約40名避難
- ・特養とよころ荘に福祉避難所開設、7名避難

20:45

津波注意報に切り替え

20:53

- ・避難指示解除

7月31日

7:00

- ・える夢館の避難所閉鎖
- ・災害対策本部解散

10:30

- ・福祉避難所閉鎖

16:30

- ・津波注意報 解除

また、備蓄していたテント型の簡易トイレを設置しましたが、避難した方の利用に抵抗感が見られたため、簡易水洗式の仮設トイレを茂岩からトラックで運びました。

その他、避難(場)所における職員の指揮系統の明確化、避難情報を統一的に把握する名簿管理、備蓄品の需給バランス、職員への災害マニュアルの徹底などについて課題が明らかになりました。

**A** 町長 地域担当職員等による自主防災組織の設立に向けての支援や、避難行動要支援者名簿の作成など対応してまいります。

**Q** 災害の種類によっては、より多くの町民の避難が想定されます。指針や基準に応じた適切な避難所運営について町長の考えを伺います。

### 今後の防災対策は

議を重ね、できることから早急に改善します。



える夢館に開設された二次避難所のようす  
簡易テント(仕切り)と簡易ベッドなどが用意されました

令和7年第3回定例会は、9月9日から開会されました。1日目は、補正予算など15件の議案審議を行い、いずれも原案どおり可決しました。

11日 2日目は、令和6年度各会計の決算認定を行いました。

18日 最終日は3名の議員が一般質問を行ったほか、意見書1件を原案どおり可決し閉会しました。

### 定例会あらまし



北海道中川郡豊頃町議会発行  
議会広報特別委員会編集

津波警報発令時の国道336号津波緊急避難場所のようす

令和7年7月30日、カムチャツカ半島沖でM8.7の地震が発生し、本町に津波警報が発令されました。

町は、同日、災害対策本部を設置し、大津、長節、湧洞地区に避難指示を発令、える夢館に避難所を、特別養護老人ホームとよころ荘に福祉避難所を開設しました。

幸いにも人的・物的被害はありませんでしたが、今回の津波避難対応を検証し、今後の災害に備えるため、大谷議員が一般質問を行いました。

### 津波避難対応の検証について

**Q** 実際の避難行動を踏まえ、訓練では気づかなかった課題について伺います。

**A** 町長 まず、今回の避難行動について、大津地域住民の方々は自発的に津波緊急避難場所へ避難されました。

このことは毎年実施している避難訓練の成果だと思えます。

また、漁船の沖出しについても毎年、漁協が行っている沖出



おおたに ともりの 大谷 友則 議員

し訓練の成果だと思えます。

一方で、今回の避難行動で新たな課題が明らかになりました。

国道336号津波緊急避難場所では、一部の通信会社の携帯電話がつながりにくく、避難した方の通話が途切れたり、災害対策本部と現場との情報共有に支障が生じたりしました。

## 一般質問 カムチャツカ半島沖地震 災害対応の検証と 今後の防災対策は



## Q 今後の町の暑さ対策の方針は

### A 暑さ指数計の設置促進など検討

近年の気候変動で、本町でも極端な高温の日が増え、屋内熱中症のリスクが懸念されます。こういった状況を踏まえ、町の一部の施設をクーリングシェルターとして開放しています。町の暑さ対策の現状と今後の対策について質問します。

### 熱中症の搬送状況は

Q 我が町における過去3年間の熱中症または疑いによる搬送状況について伺います。

A 町長 過去3年間の搬送件数は、令和4年が3件、令和5年が6件、令和6年が5件の合計14件です。そのうち9件が高齢者で、いずれも屋外で作業されていました。令和7年は0件です。  
なお、小中学校や保育所からの搬送件数はございません。



クーリングシェルターとして開放された  
豊頃地域コミュニティセンター

### クーリングシェルター 今後の活用方針は

Q エアコンがない家庭への暑さ対策は、クーリングシェルターの積極的な活用という考えなのか伺います。

A 町長 町民の皆様が安心して涼しいところに避難できるよう、今年度は熱中症アラート発令時に町内8か所にクーリングシェルターを開放しました。  
また、地域包括支援センター職員やまごころ通信員による高齢者宅訪問などを実施しています。  
今後、移動手段の確保を含め、クーリングシェルターの積極的な利用を促進します。

### 暑さ指数の活用は

Q 屋外活動実施の判断に暑さ指数を活用していますか。

A 町長 学校では文科省のガイドラインに基づき、暑さ指数を活用しています。保育所では

◆暑さ指数 (WBGT)  
人間の熱バランスに影響の大きい「気温、湿度、輻射（ふくしゃ）熱」の3つを取り入れた温度指標のこと。  
この指標が28を超えると熱中症患者発生率が急増する。

気温30度を目安に保育士が柔軟に判断しています。また、総合体育館では定期的に休憩等の声かけを行っています。  
今後、保育所や総合体育館などで暑さ指数を活用するガイドラインを作成します。  
また、高齢者世帯を対象に暑さ指数計の設置促進などを検討します。

### 公共施設への今後の エアコン設置方針は

Q 農村部の集会施設や産業観光施設などへの今後のエアコン設置方針について伺います。

A 町長 利用頻度や施設を利用する方の意見を踏まえ、財政的負担を考慮しながら対応したいと思っています。



おがさわら げんき  
小笠原 玄記 議員

## Q 営農用水確保のため、設備導入などの考えは A 農協と協議し、井戸掘削経費の支援など検討

### 営農用水確保のための 設備導入は

Q 近年、農地拡大や作業機械の大型化により、防除に使う水の量が増え、渇水期には営農用水の確保が困難になってきています。

また、酪農家からも経営規模拡大や猛暑で水の需要が高まり、営農用水を希望する声を多く聞きます。

まず、営農用水確保のための設備導入について町長に伺います。

A 町長 私も農業者の方から、農地拡大により防除で使う水の量が増えているという話を聞き、営農用水の確保は大きな課題であると認識しています。  
また、昨今の猛暑により家畜飼養用水としての需要も増えており、今後、営農用水として町

の水道使用が増えるならば、取水や浄水のあり方も含めて考えていかなければならないと考えております。

しかし、営農用水として水道料金を引き下げることは、施設の維持管理や水質保全、老朽化した管路の更新などに費用がかかっていることから、容易ではありません。

また、北海道開発局との意見交換において、営農用水の施設整備は水源などの理由から難しいと言われております。

したがって、営農用水確保のための設備等の導入に関しては、現状では各農業者の対応にお任せするしかない状況です。

今後は、農協とも協議しながら、貯水タンクの設置や地下水のくみ上げなど、どのような支援ができるのか検討してまいりたいと思います。

また、浄水場から送り出す給水量と実際に使われた水量に大

### 営農用水アンケート 調査結果は

Q 令和7年6月に実施した営農用水に関するアンケート調査の結果とその結果を受けた町長の考えについて伺います。

A 町長 今後の農業施策の参考にするため、町と農協の連名で営農用水に関するアンケート調査を令和7年6月に実施しました。

農協組合員145戸を対象に調査を行い、回答があったのは78戸（回答率54%）でした。

アンケート調査結果によると、水道水を営農用水として利用していると回答した方が5割いました。

また、4割弱の方が営農用水の確保に困っていると回答しており、その大部分が畑作農家の方でした。

### 営農用水アンケート調査結果（抜粋）

Q 普段の営農用水は	件数	割合
水道水	40	51%
井戸水など自ら用意	22	28%
その他	26	33%
※重複回答		
Q 営農用水の確保に	件数	割合
困っている	28	36%
困っていない	50	64%

今後、町と農協で協議をした上で、井戸を掘削する経費の支援や水道料金の助成などの対策を早急に検討します。  
来年の営農に向けて対策を講じられることがあれば、予算化を含めて対応してまいりたいと思います。



さかくち たかし  
坂口 尚示 議員

令和6年度

一般会計・特別会計 総額

# 決算 69億円

# グラフでみる 一般会計決算の内訳 どう使われた？

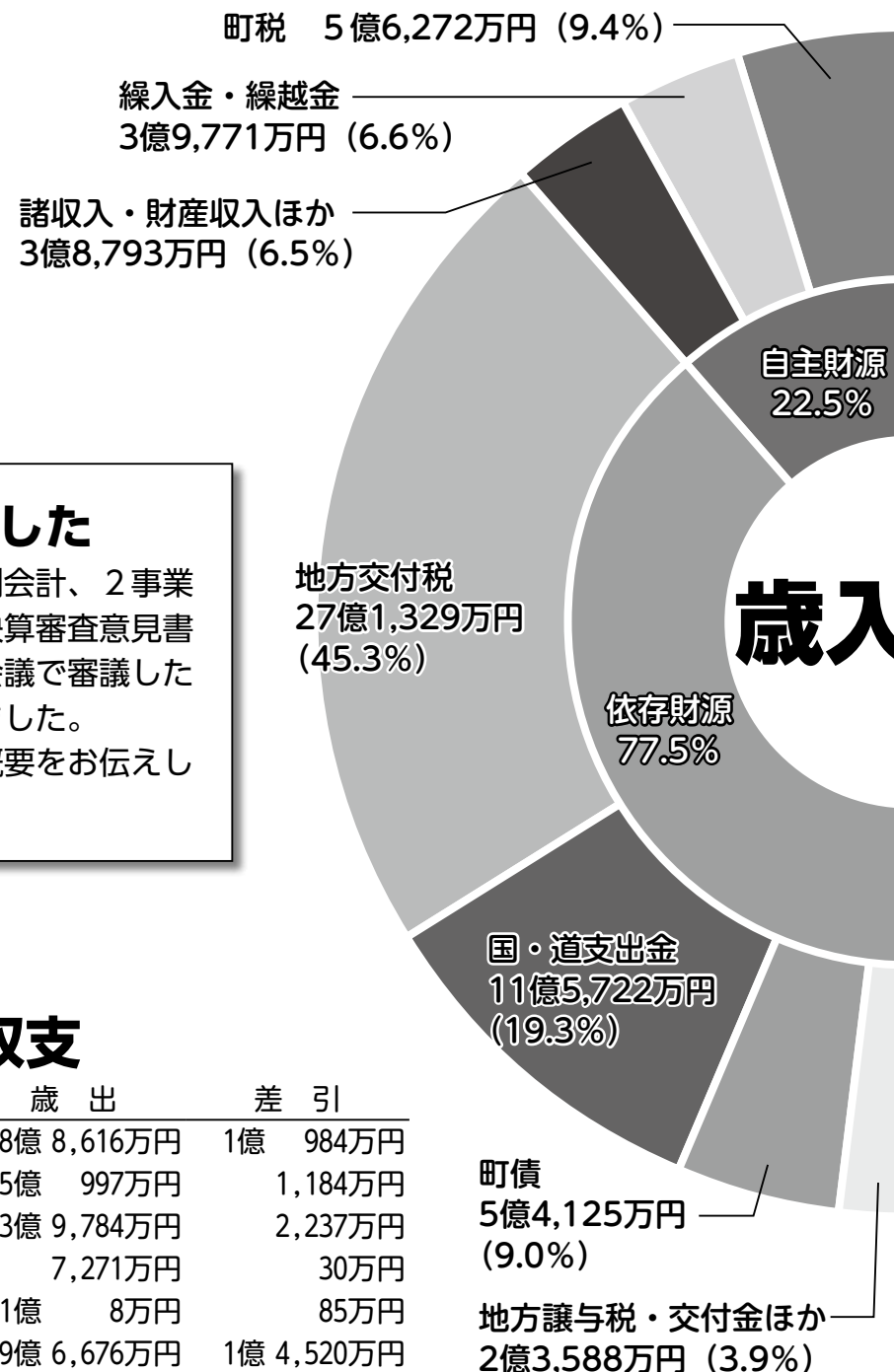
## ✓歳入決算ひとこと

一般会計の歳入決算は、前年度より5億1,074万円減少しました。

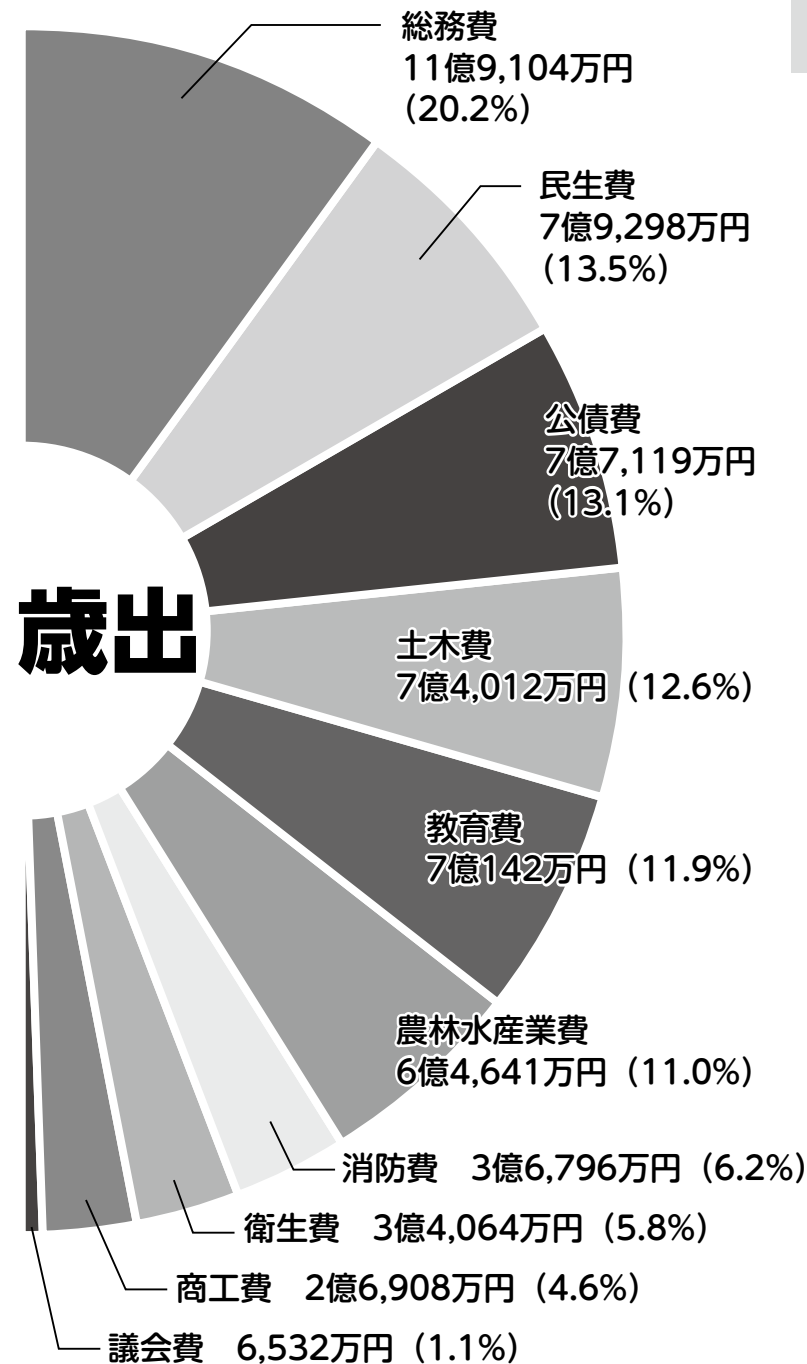
小中併設校舎が完成し、町債（借入）が前年度より約5億7千万円減少したことが主な要因です。

歳入の約8割は、国や道からのお金（依存財源）に頼っています。

## 歳入 59億9,600万円



## 歳出 58億8,616万円



## ✓歳出決算ひとこと

一般会計の歳出決算は、前年度より5億646万円減少しました。

### 太陽光発電システム設置工事 2,420万円

役場庁舎に太陽光パネルを設置。庁舎の電力の一部を賄い、温室効果ガス排出量を削減

### 省エネ家電買換え支援事業補助金 695万円

対象省エネ家電（エアコン、電気冷蔵庫、テレビ）の買換えを補助

### 物価高騰対応重点支援 地方創生臨時給付金 4,566万円

物価高騰対策として、低所得世帯等に給付事業を実施

### 公債費 7億7,119万円

借入金の返済や利子支払のためのお金。豊頃小中併設校舎整備の借入金の返済が始まり、昨年度よりおよそ1億8千万円増加

### 建設機械格納庫新築工事 1億1,616万円

除雪用機械の格納庫を新築

### 旧豊頃中学校解体工事 2億2,220万円

体育館を残して旧豊頃中学校舎を解体

### エゾシカ生息被害調査業務 1,084万円

今後のエゾシカ捕獲活動のため、被害状況や生息状況を調査

※1万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳の合計は必ずしも一致しません。

## 全会計決算認定しました

令和6年度一般会計、4特別会計、2事業会計の決算は、町監査委員の決算審査意見書とともに議会に提出され、本会議で審議した結果、いずれの会計も認定しました。

一般会計の歳入歳出決算の概要をお伝えします。

## 令和6年度各会計収支

	歳入	歳出	差引
一般会計	59億 9,600万円	58億 8,616万円	1億 984万円
国民健康保険	5億 2,181万円	5億 997万円	1,184万円
介護保険	4億 2,021万円	3億 9,784万円	2,237万円
後期高齢者医療	7,301万円	7,271万円	30万円
医療施設	1億 93万円	1億 8万円	85万円
合計	71億 1,196万円	69億 6,676万円	1億 4,520万円

町債 5億4,125万円 (9.0%)  
地方譲与税・交付金ほか 2億3,588万円 (3.9%)



# 決算審議

広報とよころ

▼決算審議  
議会だより

役場だより

議会だより



## 今後につなげる事業検証

◎ 小笠原議員 患者輸送車、コミュニティバスの利用者数が年々減少している理由と今後の方策は。

### 患者輸送車 減少の理由は

▲ 福祉課長 今年度一日あたりの平均乗車人数は1・7人。

定期的な通院で利用していた方が施設に入ったり、亡くなられたりしたため減少した。

### 今後の方策は

▲ 福祉課長 「お出かけバス」という通称で、路線上どこでも乗り降り可能で、買い物などでも利用できることを周知している。

今後は患者輸送車だけ

### コミバス 減少の理由は

▲ 住民課長 高校生の乗車が減ったことが大きな要因。

個別に調査はしていないが、幕別駅まで親が送迎したり帯広市内に下宿したりする家庭があると聞いている。

### 今後の方策は

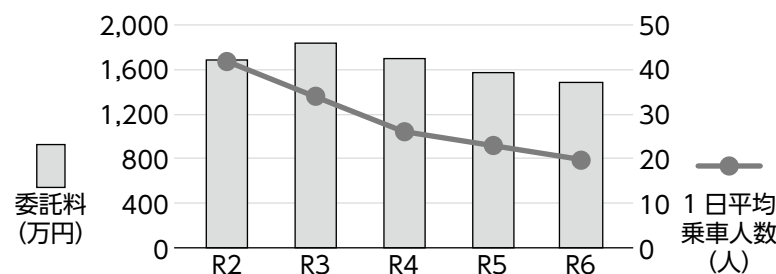
▲ 住民課長 令和4年度から指名競争入札で発注し、費用を圧縮している。

町民の意向を参考に、路線の見直しなど柔軟に対応したい。



コミバス車内の様子

コミバス1日あたりの乗車人数と年間の委託料



## 旧校長・教頭職員住宅 今後の活用は

◎ 大崎議員 空き家になっていく中学校の校長・教頭住宅について今後の活用は。

▲ 町長 行政財産から普通財産に変更し、一般に貸付することを検討している。



中央区の旧校長・教頭職員住宅

## 基金運用 意思決定の流れは

◎ 小笠原議員 基金について。有価証券の現在高が前年度より4億円増加しているが、どのような金融商品を購入したか。また、その意図は。

▲ 総務政策課長 定期預金より金利の高い北海道債を購入した。

◎ インフレ(モノの価値が高くなり相対的にお金の価値が下がること)で基金が目減りしないように、金利の高い有価証券を購入したと推察する。

町の大切な財産を運用するにあたり、どのように意思決定したのか。

▲ 総務政策課長 安全性を第一に考え、財政担当と会計管理者が選定し、町長の決裁により決定した。

◎ 担当者によって金融の知識の量は異なる。金融商品を選ぶ条件や有価証券の割合など明確な指針が必要ではないか。

▲ 町長 現状、金融商品の選定や購入金額、保有期間などについて慎重に判断しているが、

## 木工芸館 今後の活用は

議員ご指摘のとおり、基金運用の明確な基準が今後必要と考える。他町村の事例なども参考にしっかりとした運用に努めたい。



茂岩山にある木工芸館

◎ 大崎議員 木工芸館について。木工芸体験の利用を停止してしばらく経つが、木工芸館の今後の活用について考えは。

▲ 施設課長 現在は、町職員が施設管理の作業場として利用している。

## 不用額1・6%は妥当か

◎ 大崎議員 不用額(予算に計上されたが支出されなかった金額)が、予算の1・6%、1億122万円あった。

令和5年度も1・6%であったが、この割合は妥当か。

▲ 代表監査委員 福祉の扶助費や除雪費など見積もりが難しい予算もあり、一定程度の不用額は致し方ないと考えている。ただし、本来行うべき事業が未執行になっていないか、減額補正の事務処理を怠っていないかなどの視点で厳しく監査を行っている。



町の財政状況は、広報とよころ10月号で公表されています。





# 簡易水道事業は経常収支比率が基準を下回る 収支改善に向けた方策は

経営の健全性・効率性は次の3つの指標から分析します

指標	指標の説明	基準・目安	令和6年度の値
経常収支比率	給水収益などの収益で維持管理などの費用をどの程度賄えているか	100%以上で黒字 高いほうが望ましい	94.8%
資金不足比率	公営企業会計の資金不足が事業規模に対してどのくらいの割合か	比率がマイナスなら黒字	-13.35%
有形固定資産減価償却率	有形固定資産のうち償却資産の減価償却がどのくらい進んでいるか、資産の老朽化度を表す	数値が100%に近いほど老朽化が進んでいる	6.8%

簡易水道事業会計の経常収支比率は94.8%で基準の100%を下回り、給水収益（水道料金）などの収益だけでは維持管理などの費用を賄えていないことを示しています。

一方、資金不足比率はマイナスとなり、財政は良好な状態にあると言えますが、一般会計からの補助金で補っています。

また、有形固定資産減価償却率は6.8%と低く、積極的な設備投資がなされていますが、今後の安定した事業経営のためには、収支の改善が望まれます。

収支改善に向けた今後の方策について、質疑が交わされました。

## 水道料金引き上げは 慎重に検討

Q 藤田議員 経常収支比率を基準の100%にするための具体的な考えは。

A 施設課長 経常収支比率は、収入だけでなく支出も関係する。収入と支出のバランスを考えて経営し、適正な維持補修を行っていきたい。

Q 藤田議員 本町の水道料金は管内でも高いと思うが、収益改善のために、水道料金の改定を含めた今後の方策は。

A 施設課長 令和7年度に経営戦略計画の策定を業務委託している。その内容を踏まえ水道料金改定も含め検討したい。

A 町長 水道料金をいきなり跳ね上げると町民への影響が大きくなる。適正な水道料金について慎重に検討したい。

## 令和6年度公共下水道事業会計 決算の概要

決算額	決算額	指標	令和6年度の値
収益的収入 2億 2,226万円	資本的収入 5,413万円	経常収支比率	103.3%
収益的支出 2億 1,592万円	資本的支出 1億 1,186万円	資金不足比率	-36.06%
差引 634万円	差引 △ 5,773万円	有形固定資産減価償却率	4.4%
※税抜表示 1万円未満四捨五入	※税込表示 1万円未満四捨五入		



簡易水道、公共下水道事業 移行後初の決算

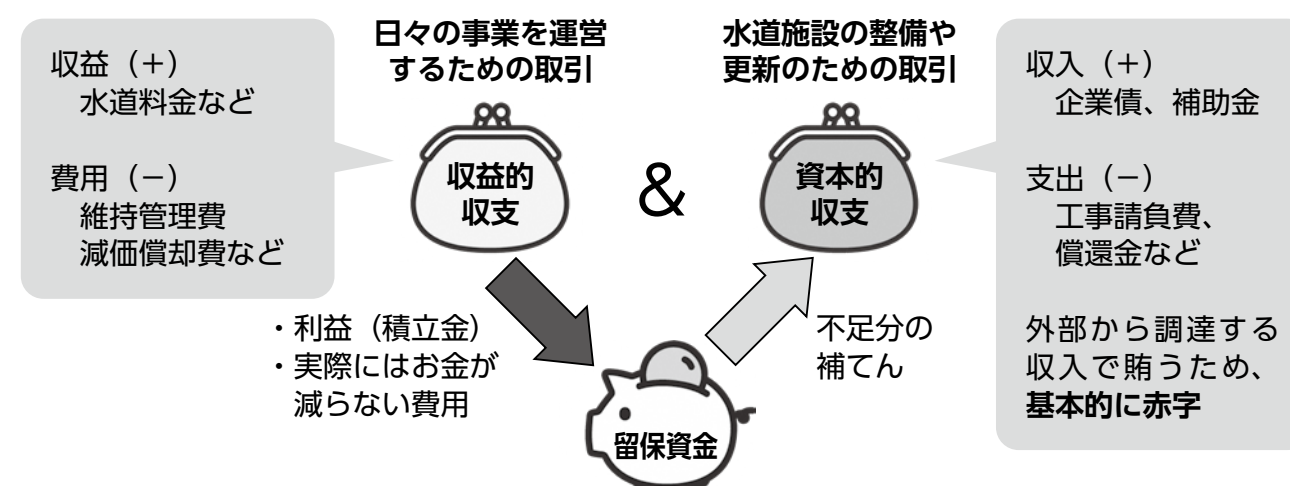
# 2 事業会計を決算認定

簡易水道事業と公共下水道事業は、経営状況の明確化を図るため、令和6年度から事業会計に移行しました。

移行後はじめての決算は、簡易水道事業会計では収益的収支が赤字となりましたが、簡易水道事業会計、公共下水道事業会計ともに決算認定しました。

決算の内容についてお知らせする前に、まずは事業会計のしくみからお伝えします。

## 事業会計はサイフ（収支）が2つに分かれています



収益的収支で得た利益をもとに施設の整備を行うのが事業会計の基本的なしくみです

## 令和6年度簡易水道事業会計 決算の概要

収益的収支	決算額	資本的収支	決算額
収益的収入	2億 3,848万円	資本的収入	1億 9,284万円
収益的支出	2億 5,333万円	資本的支出	2億 5,561万円
差引	△ 1,485万円	差引	△ 6,277万円
※税抜表示 1万円未満四捨五入		※税込表示 1万円未満四捨五入	

令和6年度簡易水道事業会計の収益的収支は、1,485万円の不足となりました。

なお、収益的収支の中には、実際にはお金が動かない収入（長期前受金戻入）と支出（減価償却費など）が含まれています。

資本的収支は、6,277万円の不足となりました。不足額は、損益勘定留保資金などで補てんされました。



## 議会の動き

7  
8~9

- ・北海道町村議会議長会議員研修会に参加
- ・江別河川防災ステーションを行政視察

7月8日、札幌コンベンションセンター（札幌市）で議員研修会が開催され、議員8名が参加しました。

西南学院大学の勢一智子教授からは、人口減少社会において開かれた地方議会の実現のためには、若者や女性などの多様な主体参画が重要であると講演いただきました。

続いて、人口戦略会議の増田寛也副議長の講演では、町村職員が減り業務を見直す必要があることや二拠点居住など関係人口創出の重要性についてお話がありました。



7月9日、江別河川防災ステーション（江別市）を行政視察しました。

徳田 哲（とくだ さとし）江別市議会副議長の歓迎あいさつで迎えていただき、江別市の河川防災の取組について治水課職員の方からご説明いただきました。

江別河川防災ステーションは、緊急時の水防活動の拠点や水防資材備蓄基地のほか、平常時は災害学習などに活用されています。また、江別市特産品の展示販売や舟運の歴史について学べる展示もあります。



8  
20

## 北海道町村議会議長会議会広報研修会に参加

ホテルポールスター札幌（札幌市）で開催され、議会広報特別委員が参加しました。

議会広報サポーターの芳野政明氏から「議会の『見える化』&住民との『信頼築く』議会広報」と題し、議会広報の基本と編集について講演がありました。

研修後半は、議会広報クリニックと題し、議会広報の添削が行われました。

今回の研修で学んだことを活かし、町民の皆さんに議会の活動をわかりやすくお伝えできるよう、企画編集してまいります。



## 正算 補正

一般会計、2特別会計、1事業会計の補正予算をいずれも原案のとおり可決

### 補正予算の主なもの

エスコンフィールド  
北海道観戦券 30万円

町制施行60周年記念事業のひとつ。クライマックスシリーズ進出時の日ハム本拠地での試合観戦券。

光ケーブル移設等業務  
1,089万円

電柱の支障移設に伴い、町の光ケーブルを移設するための費用。

プレミアム付特別商品券  
発行事業補助金  
1,533万円

商工会が発行するプレミアム付特別商品券の額面上乗せ分などを追加補助。

福祉施設エアコン  
70万円

末広近隣センターにエアコン設置。

### 災害対応備品

140万円

仮設水洗トイレを3基購入予定。財源の一部に企業版ふるさと納税を活用。

### 病院運営交付金

2,025万円

（医療施設特別会計）  
豊頃病院運営のための交付金。

### 長節浄水場

770万円

原水濁度計更新工事  
（簡易水道事業会計）  
水の汚れ具合を監視する機械を更新。

補正額 予算総額

一般会計	第2号	98万円	※専決処分
		1億 3,413万円	60億 3,823万円
介護医療施設	第2号	1,104万円	4億 1,985万円
		2,025万円	1億 946万円

補正額 予算総額

簡易水道	(収益的支出)	1,723万円	3億 3,901万円
		970万円	2億 2,386万円

## 各会計の 補正額

※1万円未満は四捨五入しています。

## その他の議案

### 専決処分の承認

▼令和7年度一般会計補正予算（第2号）  
7月30日、カムチャツカ半島沖地震の災害対応のため、町長が専決処分した補正予算について報告を受け、議会で承認しました。

### 条例改正

全て可決しました。

▼豊頃町職員の勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正  
人事院の報告に準じて改正するもの。仕事と育児、介護の両立支援制度に関する規定の追加など。

▼豊頃町職員の育児休業等に関する条例の一部改正  
地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴うもの。

▼豊頃町乳幼児等医療費給付条例の一部改正  
▼豊頃町重度心身障害者及びひとり親家庭等の

医療費の助成に関する条例の一部改正  
マイナ保険証によるオンライン資格確認のための改正。

### 組合規約の変更

全て可決しました。

▼北海道市町村総合事務組合規約の変更  
▼北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

▼北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更  
いずれも構成する一部事務組合の脱退によるもの。

### 人事案件

▼豊頃町教育委員会委員の任命  
長濱 竜一（ながはま りゅういち）氏の再任について同意。任期は本年10月1日から4年間。

ほか、工事請負契約の締結、物品の取得についてそれぞれ原案のとおり可決しました。



## 姉妹都市交流

9月20日（土）に開催された「とよころ産業まつり」に、滑川市議会からは竹原 正人（たけはら まさと）議長らが、相馬市議会からは門馬 優子（もんま ゆうこ）副議長らが来賓として来町されました。

秋鮭の即売やつかみ取り等のイベントを見学され、本町理事者や議会議員等と交流を深めました。



とよころ産業まつり開会式の様子

## 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

産業厚生常任委員会で審議し、岩井 明（い わい あきら）産業厚生常任委員長から上記意見書案について提案説明されました。

意見書案は原案どおり可決され、関係省庁・機関に提出されました。



提案説明する岩井明委員長

## 会議の詳細は 会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録しています。

町のホームページや町図書館で閲覧することができます。

問合せ先  
議会事務局  
☎574-2222  
会議録のページは  
こちらから



24日	18日	8日	10月	18日	11日	9日	4日	9月
札幌豊頃会（～25日） ～札幌市	連携都市交流（～19日） ～茨城県筑西市	議会広報特別委員会 互産互生事業	議会運営委員会 第3回定例会（1日目） （補正予算、その他）	議員全員協議会 総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 第3回定例会（2日目） （令和6年度決算認定） 第3回定例会（3日目） （一般質問、意見書ほか）	議会広報特別委員会	議会運営委員会 第3回定例会（1日目） （補正予算、その他）	議員全員協議会 総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 第3回定例会（2日目） （令和6年度決算認定） 第3回定例会（3日目） （一般質問、意見書ほか）	議会運営委員会 第3回定例会（1日目） （補正予算、その他）
16日	9日	5日	12月	25日	10日	1日	11月	30日
議会広報特別委員会 （一般質問ほか）	議会運営委員会 第4回定例会（1日目） （条例改正、補正予算など）	総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 第4回定例会（2日目） （一般質問ほか）	議会運営委員会 第3回臨時会 議員研修会～幕別町	東京豊頃会（～2日） ～東京都	所管事務調査 一部事務組合議会定例会 ～帯広市	十勝町村議会議長会主催 議員研修会～幕別町	十勝町村議会議長会主催 議員研修会～幕別町	十勝町村議会議長会主催 議員研修会～幕別町

## 議会日誌

# 委員会レポート

町の課題を調査・研究しています。  
概要をお伝えします。

## 総務文教常任委員会 豊頃小・中併設校舎を調査

7/15

共用開始から1年が経過した豊頃小学校・豊頃中学校併設校舎の現状について調査しました。

併設校舎になったことで、児童生徒の間に日常的な交流が生まれていました。

また、職員会議を合同で開催しているほか、児童生徒のことで気になることがあればすぐに共有するなど、小中学校教職員間の連携が図られていました。

委員からは、小中併設校の利点を最大限に生かし、小中連携教育の更なる深化に期待したいと意見が出ました。



写真は小学校の図画・木工室を視察するようす。  
中学の技術の授業でも共用しています。

## 産業厚生常任委員会 農作物の作況について調査

8/21

町農業改良推進協議会の作況調査に同行して調査しました。

てん菜 大豆・小豆 飼料用とうもろこし



4月下旬以降の断続的な降雨で、は種作業が遅れましたが、6月以降の高温で生育が早まり、平年並みの見込みです。

秋まき小麦



乾麦で反収おおむね12.6俵と昨年を上回る見込みです。  
（昨年は12.2俵）



十勝農業改良普及センターの方から説明を受けました。  
写真は小豆の生育状況を確認するようす。